

平成30年度 図画工作科 夏季実技研修会

実施日：7月26日(木)・27日(金) 会場：川崎市立新城小学校・岡本太郎美術館

今年度は、2日間で延べ121名の方々に参加していただきました。今年度も1日目は、造形活動の基礎・基本となる「材料と用具・技法を体験するコーナー」を設けました。2日目は、実際に題材をとりあげ、研究会テーマである「つくりだす喜びを実感できる授業」について、活動を通して研修を行いました。また、岡本太郎美術館では、太郎さんの作品鑑賞を通して子ども達が楽しみながら、自由に感じる鑑賞活動について研修しました。

受講した皆様から、「子ども達への声かけがとても参考になった。」「材料や技法について知らなかったことを詳しく研修することができた。」などの感想を頂きました。来年度もより良い研修となるよう研究会一同力を合わせていきたいと思ひます。

1日目〔材料・用具・技法体験〕

- 【造形遊び】 いろ・色・いっぱい！なにができる？ 8000本のカラフルな割りばしを使ってどんなことができるか体験しました。
- 【 絵 】 劇的技法アフター 絵の具を使ったモダンテクニックやマーブリングを使った表現を体験しながら研修しました。
- 【 立体 】 どーねるん土 体全体を使って練ったり、用具を使って形を変えたりしながら、土粘土の特徴を研修しました。
- 【 工作 】 HOW to 木工作 のこぎりや電動糸のこなど木材を加工する用具の使い方を研修しました。
- 【 鑑賞 】 暮らしの中の太郎さん(美術館) 「生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力」を太郎さんの作品から考えました。

『参加者の声』造形遊び
自分が考えたり思いついたりしたことを自由に試すことができました。どんどん活動が広がっていき感じがとても楽しかったです。



『参加者の声』立体
糸の使い方で、粘土の切り口を不思議な形にできることに驚きました。身近な材料が用具になると、子ども達はもっと自由につくれると思うので紹介したいです。



『参加者の声』絵
今年で5回目の参加です。シャボン玉や糸を使った技法は大変参考になりました。授業をする前に教師もやってみる大切さをあらためて実感する機会になりました。



『参加者の声』木工作
のこぎりや糸のこの刃の種類、使い方の基本を教えていただきました。また、万力という用具を初めて知りました。木を固定できるので、万力を使って切る良さに気づけました。

2日目〔題材ごとの実技研修〕

- 【造形遊び】 シルエットパズル いろんなポーズを新聞紙やロール紙に転写しました。人型に切ったシルエットを並べて壁に貼るなどして活動しました。
- 【 絵 】 SUIBOKU〇〇 濃淡やにじみ、かすれ、用具による表現の変化など、様々な紙で墨の可能性を体験しました。
- 【 立体 】 OMEN 細長く切った工作用紙を組み合わせて骨組みをつくり、和紙を張り付けお面づくりをしました。
- 【 工作 】 作って育てよう！ハギモン 木材の端切れを組み合わせて、モンスターに扮した小物づくりをしました。
- 【 鑑賞 】 暮らしの中の太郎さん(美術館) 「生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力」を太郎さんの作品から考えました。



『参加者の声』絵
夏休み明けに予定している題材で、大変参考になりました。筆以外の用具でもかけることを知り、濃淡やぼかしなどの表現の良さにも気づくことができました。



『参加者の声』工作
様々な形の木切れから見えてくるものをモンスターとして表現するだけでなく、小物として仕上げていく題材の工夫がおもしろかったです。



『参加者の声』造形遊び
実寸大のシルエットを使う視点が面白かったです。置き方やつなぎ方を工夫すると活動が広がっていき楽しさを経験できました。



『参加者の声』立体
紙とのりで自由に立体をつくることができました。紙を重ねていくと、どんどん厚みのある立派なお面になっていき、楽しさを味わいながら活動することができました。



『参加者の声』鑑賞
何気なく見ていたパブリックアートに興味を持つことができました。タブレットを使って太郎さんの作品を合成する活動が面白かったです。